

<p>熊谷町長 あいさつ</p>	<p>これからの高森町将来どうしたいか考えたときに、高森町にこれから受ける影響がいくつかある。</p> <p>人口減少が全国で進んでいる。高森も人口減少していく。</p> <p>飯田下伊那 14 市町村あるが、面積は香川県ほど大きさがあり、17 万人程度の人口が住んでいる。</p> <p>2040 年ころには 2010 年と比較して、4 万 2000 人ほどいなくなる。</p> <p>北部 5 町村人口がだいたい 4 万 2000 人なので 2010 年から 2040 年までの 30 年間にこの人口が減ってしまうと予想されている。</p> <p>高森町はというと、2040 年までに 1100 人展度減る予想である。</p> <p>飯田下伊那や長野県内ではまだいいのかもしれないが、全国でどうなのかということを考えてないとこれから大変だと考えている。</p> <p>人口減少を食い止めるための計画を町でも作り始めた。</p> <p>地方創生：人口減少と東京への人口一極集中を見直そうという取り組みで町も計画づくりをしている。</p> <p>今までも、大人の男性ばかりで計画を作ってきたが、なかなかうまくいかなかったので、女性にも入っていただくとか、若い人たちの意見を入れていくことも大事だと考えている。</p> <p>今日は特に女性も多いので意見を取り入れていきたいと考えている。</p>
<p>司会 江村 裕子さん</p>	<p>若い皆さんが地元に戻ってくるためには そもそも高森町は会場の皆さん好きか？ →全員好き</p> <p>では、どんなところが好きか？</p>
<p>下伊那農業高校 熊谷 沙久良さん</p>	<p>空気がきれいで自然が豊かなところ</p>
<p>筑波大学 鈴木 龍さん</p>	<p>自然が豊か、治安がいい、水うまい、農産物の栽培農家あるところ。</p> <p>逆に高森町に足りないところは、この仕組みを生かすシステムがない。</p> <p>現在盛んにおこなわれているふるさと納税を高森町でもやっているが、松川町ではりんごの樹のオーナー制を行っている。</p> <p>高森町は松川町のようなお金を集めようという取り組みが足りない。</p> <p>豊かな農産物を活かした取り組みができればいいのでは。</p>
<p>熊谷町長</p>	<p>松川以外にも豊丘はマツタケで稼いでいる。</p> <p>高森はまだそれほどではないが、都会の人から高森のファンになってもらいたいと少しずつ一步一步やっている。</p>
<p>司会 江村 裕子さん</p>	<p>ほかに高森町のどんなところ好きか？</p>
<p>飯田女子短期大学 矢沢 茉世さん</p>	<p>道で「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」と声をかけてくれる人がいる高森町が好き（人があたたかい）</p>

<p>飯田女子短期大学 原 沙央理さん</p>	<p>人があたたかいところ</p>
<p>やく みつるさん</p>	<p>人があたたかいのは魅力である。 ふるさとCM大賞が始まった頃の各自治体は、どう宣伝しようとしたかというところ、8割くらいが「自然が豊か・空気きれい・水がうまい・人があたたかい」を挙げた。 これは自明の理であたりまえ。 「じゃあ高森町は」となるには一歩抜け出さないといけない。 自然豊かはどれだということ、ふだん見過ごしていると思うが、河岸段丘。 あたりまえの地形だが、これほどみごとな河岸段丘が形成された地形はそうない。 この斜面を生かす手はないだろうか。 河岸段丘クロスカントリーはどうか。河岸段丘を生かしたイベントを。 河岸段丘生かしたハリウッドのような演出はどうか。 河岸段丘をもう少し生かしてみてもいい。</p>
<p>熊谷町長</p>	<p>いままでハリウッドの提案は初めて聞いた。 中央道から見て「ハリウッド」と見えるようにできれば。 すぐにでもやってみようかという提案で、早くやれるように研究したい。 横には柿丸くんを付けてみてはどうか。</p>
<p>司会 江村 裕子さん</p>	<p>河岸段丘PRするチャンスでは。 会場の皆さんは高森町のことが好きか？（挙手） （会場：大部分挙手）</p>
<p>やく みつるさん</p>	<p>地元愛が大事</p>
<p>司会 江村 裕子さん</p>	<p>地元スポットを当てた地元アイドル、ゆるキャラなんてのがいるが、地元とか地方の良さが見直されていると思うが。</p>
<p>やく みつるさん</p>	<p>柿丸くんの話があったが、ご当地キャラほぼ出尽くした感がある。 柿丸くんも埋没しかねない。 私はゆるキャラから派生した「じもキャラ」を提唱している。 先行しているのは大分県別府市で別府温泉を開発した油屋熊八という人がいる。駅前に銅像もある。 別府の人は知っているが、よその人は知らない。 油屋熊八を漫画化したキャラもいる。じもキャラについて別府でシンポジウムも開かれる。 油屋熊八がじもキャラの先頭。 どのまちにもおらがまちのヒーローの偉人がいる。 高森は・・・と聞いたら高森には島岡御大がいる。 全国的な知名度ある！ 「御大」の尊称はオンリーワンである。 このキャラを生かして町のPRを。 「御大」というキャラクターを島岡さんに寄せて、例えば中高生の美術部なんかでデザインしてキャラクター化してもらい、柿丸くんと一緒にPRしていくのはどうか。</p>

司会 江村 裕子さん	高森町で 1 月に行われた成人式で、143 人（H 6 年生まれ）92. 1%高森町が好きだと回答。
熊谷町長	自分が生まれ育った町に愛着を持ってもらうことはありがたいことだと感じている。 いずれかは田舎に戻ってくればありがたいし、ふるさと納税で地元を応援してくれるとうれしい。
司会 江村 裕子さん	やくさんは東京都出身とのことだが、地元への愛着についての考えは？
やく みつるさん	私は生まれ故郷から出たことはない。商店街の手伝いを今でもしているくらい密である。 至極当然。 「陸の孤島、雪が降るとどうしようもない」 いきなり自虐的になることはまったくくない。 河岸段丘はいいところで、果物はあるし、中学の建物や中学のあたりを飛んでいたクワガタやヨモギと思える蝶々など、どれも新鮮。 なぜそれらをアピールしないのか。 地元愛の発露の仕方、ひとを羨ましがらせてなんぼという気持ちを抱くことが肝要では。 決して自虐が似合う町ではない。
司会 江村 裕子さん	魅力ということでは、地元の人では気づかないこともある。 魅力という面で、飯田女子短大で飯田市の紹介を市内外に発信するいいレポとして活動されているが、普段どんな活動をしてどんな発信をしているのか教えてほしい。
飯田女子短期大学 矢沢 茉世さん	飯田市のイベントや食べ物、文化について取材し、その記事を書いてフェイスブックに投稿している。 今までに人形劇フェスタ、古墳、考古資料館など取材してきた。
司会 江村 裕子さん	企画から取材まで自分たちで行うのか？
飯田女子短期大学 矢沢 茉世さん	市の職員からイベントのお願いや、自分たちから興味のあるものに取材をして記事を書くこともある。
やく みつるさん	発信したからには、どれだけ成果があったか、反応があったか確認しておくことが励みになるのでは。 一方的に発信するだけでは、あまり意味がない。
司会 江村 裕子さん	飯田市広報レポーターの経験から感じたことは？
飯田女子短期大学 原 沙央理さん	今まで飯田下伊那で生活してきて、全然知らなくて、地域の文化に触れることや、こんなにたくさんのイベントをやっていることを知れた。 もっと飯田の魅力について知ってほしいと感じた。
司会 江村 裕子さん	やくさんの話にもあったが、発信したら反響も知りたくなるのでは。
やく みつるさん	いいレポを見た人が飯田に来て、いいレポのレポーターの人に会いに来るくらいの発信力があれば地元への貢献もできるのでは。

	いいレポ見た人に、レポーターに会いに来ると地元への貢献度も大になるのでは。
司会 江村 裕子さん	飯田離れて遠くに住んでいる人も記事を見て懐かしいと感じるのでは 発信した先のことも大事になると思う。 では、高森を発信するとどんなところを発信したいか？ 町の外から来た人に対して、「こんなところがいいよ」と教えたいところはどんなところ？
飯田女子短期大学 矢沢 茉世さん	南小の日本一の学校桜や桜の名所を取り上げていきたい。
司会 江村 裕子さん	鈴木さんは大学でいろんな学生の交流あるが、高森を発信することはあるか？
筑波大学 鈴木 龍さん	高森町には富本銭あるが、あまり知られていない。知名度不足が否めない。 学校桜や町の歴史といった動かないものをもっと紹介していきたい。 自分もFBやっていたが効果がなかった。
司会 江村 裕子さん	外に出たから見える地元の良さもあると思う。 若者を呼び戻すためのポイントの一つとして地元の仕事があるかというところ。 今年 1 月実施の成人式のアンケートでは、「あなたは将来地元就職したいですか」という質問に対して、回答した 3 割以上が地元への就職に迷っていることがわかる。 「あなたは将来地元就職したいですか」 はいと回答した人の理由は・・・ 地元が好き、親が近くにある、友人が多いなどの理由が上がった。 「あなたは将来地元就職したいですか」 いいえと回答した人の理由は・・・ 希望する企業がない、地元から離れたくないなど 地元で就職するための条件という質問に対しては・・・ 希望する企業があることが半数を占めた。 続いて通勤、勤務条件、結婚・出産・子育て環境が挙がった。 私の出身の飯山市では過疎 高齢化でいずれまちがなくなるともいわれている。 私の周りでも地元に戻りたいという声を多く聞くようになったが、実際には帰ってこない。 地元仕事がないというのが一番のネックで、成人式のアンケートと同じ状況。 町長、仕事とか高森だけの問題ではなくて、飯田下伊那近隣も同じ状況？
熊谷町長	町だけで仕事を確保するのは難しい。飯田下伊那全体で取り組まなくてはいけない課題と考えている。 この地域では 2027 年にリニア中央新幹線高森町から 10 分ほどのところに長野県駅ができる。 職場を考えると働く場所は東京でもいいのでは。 今は早くても東京から 3 時間はかかる。飯田下伊那から東京へは時間がかかる。 時間では北海道や沖縄の方が短い時間で東京に行ける場合もある。 12 年後にリニアが開通すれば、品川へは 40 分で行けるようになる。 仕事場は東京で、普段住むのは高森町という今の若い人たちはそういう時代も来るのではないかと思う。 そんなことを考えながら高森町へ住んでみようということもあるだろう。

司会 江村 裕子さん	<p>リニア中央新幹線は期待大。</p> <p>やくさん、地元に戻ろうと悩んでいる人たちには、働く環境の整備は必要では。</p>
やく みつるさん	<p>地元へ戻ろうと考えている人には環境の整備も大切ではないか。</p> <p>リニア中央新幹線は自分たちの年代としてはなんとか開通見届けたいと思うくらいだが、ここにいる若いパネリストたちは、みらい物語ではない。</p> <p>リニアで通勤は、距離では可能でもお金では難しいのではないか。</p> <p>通過駅になってしまうことは避けたいので、とにかくここへきてイベントは多く、うまい食べ物が食える土壌を 2027 年になって慌てて作るのではなく、今のうちにそういう土地なんだということを徐々に育てていくことではないか。</p> <p>そこが最大の生命線であることは確か。</p> <p>では、何で活かしていくか考えると、東京・名古屋にない地元産の食べ物や景色を生かした施設になるのではないか。</p> <p>たとえばここに来た時にお弁当に 4 種のフルーツがあった。</p> <p>なおかつ何種類もの果物があった。</p> <p>いま「フルーツ女子」という言葉がある。</p> <p>高森町は単身で子育てする女性多いと聞いた。</p> <p>そういう女性をフルーツ女子として束ねて、単に果物を都市部へ出荷するだけでなく、デザートだけではなくて料理やモチーフにしたアクセサリーなどにしているんなフルーツの展開をしてはどうか。</p> <p>おかあさんたちに担っていただくことでフルーツ女子ならぬフルーツマザーとして「フルーツマダムが多い町」とかキャッチーな言葉を使ってフルーツマダムが人口の相当数がいる町にしてはどうか。</p> <p>富本銭をペンダントや地域通貨にしてはどうか。</p> <p>フルーツのアプローチあり、河岸段丘・富本銭・そこらじゅうに御大ありなどと高森町がもっているものをこれでもかというくらい出してくるのがいいのでは。</p>
司会 江村 裕子さん	<p>女性の就業率は高森町が県内でも町の中で 3 番目に高く、仕事を持っている女子が多い。</p> <p>フルーツマダムについてどうか。</p>
熊谷町長	<p>この地域は 1 年中おいしい果物があり、都会の人に提供することができる。</p> <p>町の人たちが一番おいしいと感じてもらえるのが何よりも必要では。</p>
司会 江村 裕子さん	<p>仕事という面で話を聞きたいが、地元の企業の情報を知る機会が高森町にはある。</p> <p>中学生は職場体験学習あるが、金森さんはどのようなところで体験したか？</p>
高森中学校 金森 真梨さん	<p>高森南小学校に行った。</p> <p>私は英語が好きで、将来英語を使った職に就きたいと考えて、英語の先生という選択もあると思い選んだ。</p> <p>実際は小学 1 年生担当だったので、英語についてはできなかったが、高森町で英語の体験ができる機会があれば行きたいと思った。</p>
司会	<p>進学先としては、県立大学の構想もあるが、今の中学生の子たちが大学生になって人口の対</p>

江村 裕子さん	流について変わってきそうだがいかが。
熊谷町長	この地域の人口減少の特徴として、高校卒の若者が東京や名古屋の都市圏へ進学していく傾向が強い。 つまり、この人たちが卒業後にこの地域へ戻ってくるのが少ないのが人口減少していく要因のひとつ。この人たちが戻ってきて働くようになってくれれば、人口減少を食い止めることができる。
司会 江村 裕子さん	実際高校・大学生は、将来職業はどう考えている？
下伊那農業高校 熊谷 沙久良さん	将来、鍼灸師になりたい。 近くに専門学校がないので、県外の専門学校へいきたい。いずれは地元に戻りたい。 地元離れて生活してみたい。
下伊那農業高校 原 里沙さん	製菓の道に行きたい。 松本・長野の専門学校も見たが、名古屋とか東京に比べたら劣っていると思ったので、京都の専門学校に行きたいと思った。 いろいろ学んで戻ってきたいが、いったんは地元から離れたい。
やく みつるさん	私は大学卒業しても決まっていなかった。 富本銭でもフルーツでも生かして、ぜひ地元に戻ったらリニア駅前で売ってやるくらいの気持ちでいてほしい。
司会 江村 裕子さん	飯田女子短期大学の 2 人は。
飯田女子短期大学 原 沙央理さん	地元就職したい。 保育士または保育関係の仕事につきたい
飯田女子短期大学 矢沢 茉世さん	地元で就職したい 本当は県外の学校も考えたが、地元の学校の方が地元の就職がいいと聞いたので地元の学校に進学した。
筑波大学 鈴木 龍さん	将来はまだ考え中 公務員か、大学院に進学するか、都会で実務経験して、こっちで起業するか考えている。
やく みつるさん	どんな起業？
筑波大学 鈴木 龍さん	農業ビジネス
やく みつるさん	農業ビジネスは心強い。
司会 江村 裕子さん	起業の話が出たが、町長 今年度からは起業支援の相談室ができたそうだが。
熊谷町長	新しくチャレンジして会社を興す動きが活発になれば元気ができるのでは 町も商工会と連携し相談できるようにした。
司会 江村 裕子さん	若者を呼び戻すために皆さんが考えることを発表してほしい。
高森中学校	高森町が有名になったら帰ってきたい

金森 真梨さん	そのために、田舎を生かしたスポーツや体験がやっていたらいいのでは
下伊那農業高校 熊谷 沙久良さん	名古屋とかに遊びに行ったりして戻ってくると落ち着くので、豊かな自然や犯罪のない安心な町を守ってほしい。
下伊那農業高校 原 里沙さん	空気おいしいと思うが、服とかを名古屋や東京のように新しいものを取り入れるといいと思う。 今は松本や名古屋に買い物に行くが、近くにお店がほしい。 交通の便が悪い。歩いてても、街灯がないので怖い。不審者は見ないが、防犯灯が少なくて怖い。
熊谷町長	防犯灯は、地域の皆さんと相談してつけているが、明るすぎて困るという話もある。 できるだけ明るくしながら、配慮しながらやっていきたい。
司会 江村 裕子さん	リニアが開通して東京が近くなる。 町内の身近な交通の面ではどうか。
熊谷町長	飯田線本数少ないが、JRも民間企業なので人が多く乗らないと本数減ってしまう。 リニアがきたときも飯田線は残すように要望している。
飯田女子短期大学 原 沙央理さん	交通の便 短大になって、車の免許取るまでは電車で通ったとき 家から駅までかかる。電車に乗って時間かかる 駅からという計算すると大変だった。 都会にいったらいいなと感じた面もあった。 若者でも高森の事知らない子多いと感じる。 住んでても知らないこと多いので詳しいことも発信してほしい。 若者が知る機会があったらいい。
飯田女子短期大学 矢沢 茉世さん	なりたい職業になるために いったん外に出ると、企業がわからないという話もある。 地元に戻って地元で働きたいと思っても仕事を探すのも一苦労だ。 もっと外へも地元企業の就職情報の提供ができれば地元へ戻ってこようとする人も増えるのではと思う。 いいレポの経験から感じたことで、飯田市の人形劇ボランティアは小学生から一緒にを作り上げている。大人だけでなく、子どもが主催者になるイベントを。
筑波大学 鈴木 龍さん	一時的に若者を取り戻すことはできるが、定住できるかは別の問題で、雇用がある環境が大事だ。 成人式でも、地方でも金稼げないという人もいた。 チャンス少ない環境が都会へ人を動かすのでは。 お金を稼ぐことを考えれば、この地域の基幹産業の農業だ。 先進的な取り組みをしている農家について調べたが、農業は現金収入が少ない。 営農支援センターに話を聞いたところ、先進的な農家がいると話を聞いて調べた。 自分で営業して販路を拡大している農家がいる。

	<p>独自の値段でやっている人もいる。加工してフルーツパーラーに売り込んでいる人もいる。</p> <p>高森にいい農産物を販売できる会社を作り、加工の手助けをできる会社があればいいのでは一度都会でノウハウを学んで起業したらいいと思う。</p> <p>航空宇宙産業特区や半導体精密機器機械についても、うまくいけば収益得られる産業なので、強化していけば、雇用も増えるのではないか。</p>
<p>司会 江村 裕子さん</p>	<p>Uターンの補助のようなものは？</p>
<p>熊谷町長</p>	<p>おかえりなさい奨励金というUターン者に対して8万円の補助がある。</p> <p>若い人たちにもぜひ活用してほしい。</p> <p>中学生・高校生・大学生のパネリストの皆さんはすごい勉強している。</p> <p>将来のことについても夢語ってくれてよかったと思う。</p> <p>行政も発信力弱いかもしれない。</p> <p>民間と一緒に頑張って頑張りたい。</p> <p>行政にいないものねだりと思いがちだが、地元にあるもの大切にし、地元にあるものをこれでもかと活用しなくては。</p> <p>やくさんから改めて教えてもらったと思う。大変ありがたい。</p>
<p>やくみつるさん</p>	<p>中学生から大学生までリアルに考えている。</p> <p>町がフォローできるかにかかっている。</p> <p>非現実的な提案だが、日本のどの地へいこうがミドルネームに高森を名乗る。</p> <p>自分の故郷たかもりでは条例で「ミドルネームに高森」をつけてみたらどうか。</p> <p>町のPRとアイデンティティにつながる。</p> <p>いずれは戻ってくるのでは</p>